



# 野田小だより

学校教育目標

- がんばる子
- やさしい子
- 学びつづける子

平成27年11月 2日

## 11月 遠くて近い日光

10月は、ラグビーワールドカップでの日本代表の戦いに日本中が盛り上がりました。

過去のワールドカップで通算1勝だったうっぶんを晴らすごとく、ピッチを縦横無尽に走る赤白横縞の桜のジャージの日本代表は、予選リーグで一気に3勝するという快挙をあげました。

野田小では、10月は6年生の修学旅行や3、4、5年生の社会科見学と、学校を離れての活動が続きました。

修学旅行では、初日に台風23号の北上に伴い、奥日光は北からの強風が吹き、時折小雨が舞う非常に寒い天気となりました。それでも、戦場ヶ原のハイキングでは、地面に虹がかかるという、大変珍しい光景を目にすることができました。また、二日目は風もおさまり、晴天の下、中禅寺湖の遊覧船や東照宮の見学を楽しむことができました。

さて、野田地区と日光のかかわりを調べてみると、子どもたちの修学旅行先というだけではないようです。

野田小の脇を通っている県道105号線は、皆さんもご存知の通り、別名「日光御成街道」と呼ばれ、江戸時代、この道を徳川将軍が東照宮参拝のために通った重要な道路でした。ところが、出発の会で話したところ、子どもたちの反応は「???」の様子。実際のところ、社会科ではそこまで学習しませんし、日常生活においても殆んどかかわりが無いことから、このことを知らないようです。

本郷追分（東京：文京区）で中山道から分岐し、幸手宿で日光街道と合流するこの街道には、現在でも一里塚が何か所か残っていますし、すぐ近くの大門には本陣跡も残っています。また、国昌寺には「あかずの門」と呼ばれる門があり、欄間の竜は、「眠り猫」で有名な左甚五郎作と伝えられています。

このように、日光とかかわりの深いことから、緑区では来年の2月21日に「日光御成道 美園大門宿まつり（仮称）」を計画しており、その中で子ども行列も予定しているそうです。

野田地区と日光東照宮、距離は離れていますが、そのかかわりは、とても近くて深いようですね。



戦場ヶ原の虹



東照宮での見学



大門宿本陣



膝子の一里塚